

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成22年9月20日（月）～9月26日（日）〔平成22年第38週〕の感染症発生状況

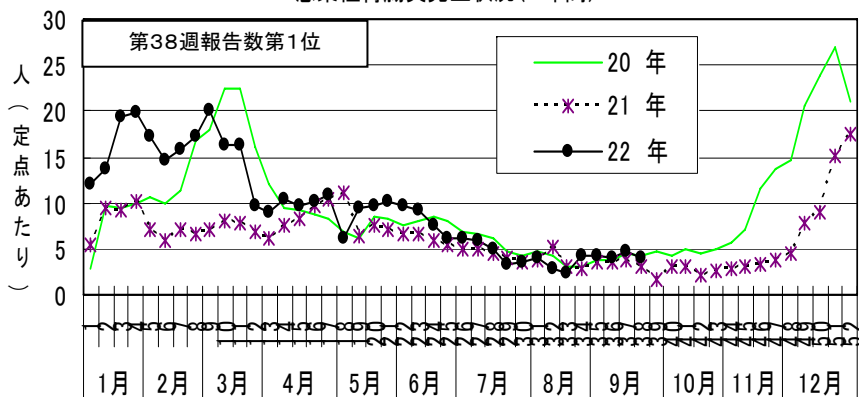
第38週で報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)手足口病 3)突発性発疹でした。

感染性胃腸炎は定点あたり3.97人と前週（4.64人）より患者報告数は減少しました。手足口病及び突発性発疹も例年並みの報告数となっています。

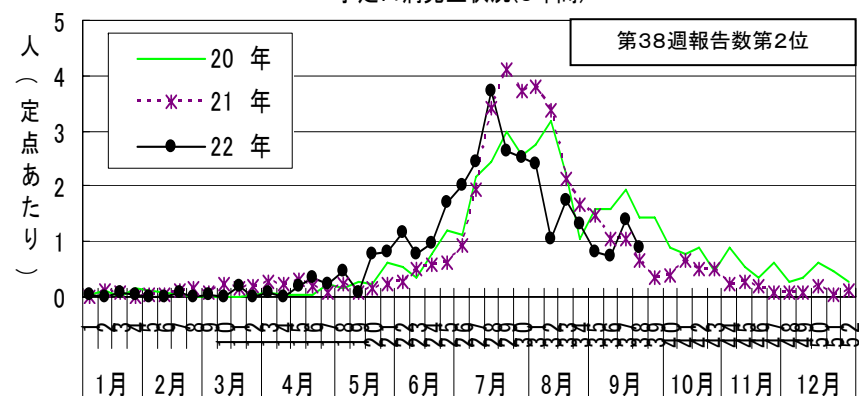
インフルエンザの報告が4件（川崎4件）あり、今後、流行シーズンを迎えることから、引き続きインフルエンザの発生動向には注意が必要です。

腸管出血性大腸菌感染症の届出が2件（2件ともに、感染経路：経口、血清型：O157、焼肉の喫食あり）ありました。特に症状が出やすい小児や高齢者については、肉を食べるときには十分に加熱をしてください。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



手足口病発生状況(3年間)



流行開始の前にインフルエンザの予防接種を！！

もうすぐインフルエンザの流行シーズンです。インフルエンザの予防には、手洗い・うがいはもちろん大切ですが、流行前の予防接種が有効です。

10月1日から、新型インフルエンザや季節性のインフルエンザのまん延防止と重症化防止を目的として、市内の約700箇所の協力医療機で接種が始まります。



◎実施期間

平成22年10月1日～平成23年3月31日

◎接種費用

① 65歳以上の方又は60～64歳で障害1級程度の心臓病、腎臓病、呼吸器機能障害及びHIVによる免疫機能障害のある方

② ①以外の方
1回目 1,500円
2回目 3,600円
2,550円

※生活保護世帯、市県民税非課税世帯の方等は全額公費負担で接種できます。

インフルエンザの予防法(5か条)

- ①流行前のワクチン接種。
- ②流行時はできるだけ人ごみを避けて、外出を控えましょう。
- ③十分な休養とバランスの良い食事をとり、健康管理に気をつけましょう。
- ④帰宅時には手洗いとうがいをしましょう。
- ⑤空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下するため、外出時のマスクの着用や、室内での加湿器の利用も有効です。



予防接種 Q&A

Q1 対象者は？優先順位はあるの？

A1 全ての市民の方が対象です。優先順位はありませんので、希望する方は医療機関に直接連絡をしてください。

Q2 ワクチンは足りなくなるの？

A2 十分な量が確保されています。

Q3 新型と季節性と別々に接種するの？

A3 今シーズンは、新型と季節性インフルエンザのA香港型とB型の3種類が一緒になった3価ワクチンがあります。新型のみのワクチンもありますので、医療機関に希望を伝えてください。

Q4 接種回数はいくつ？

A4 原則、13歳未満の方は2回、13歳以上の方は1回です。

Q5 免疫はどれくらい続くの？

A5 予防効果が期待できるのは接種後2週間から5ヶ月程度と考えられています。